

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部ごみ対策課	直通電話	72-3126	事業コード	205010401	課内	9	作成日	平成15年8月6日
	担当者		吉井 重正	担当課長		加藤 光治	担当部長		吉田 保雄

1 事業のアウトライン

1) 事業名	不法投棄廃棄物適正処理事業	開始年度	H14	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度	H14		
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 2050104 大項目 / 小項目 / 細項目 環境衛生の充実 / ごみ処理の充実 / ごみ不法投棄の防止				
3) 個別計画での位置付け	石狩市環境基本計画(2-3うらおいと安らぎのあるまち・ごみのポイ捨て、散乱をなくし、まちなみの美化維持を推進する)				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	不法投棄廃棄物の適正処理と海浜地等の清潔保持
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市内全域(海浜地・観光地・河川敷地・防風保安林等を含む)が清潔に保たれること
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	市内全域の廃棄物不法投棄等監視パトロールや、市民等からの情報提供で発見した不法投棄廃棄物を適正に処理する。なお、石狩浜海水浴場を含む海浜地や観光地等については、市民参加によるボランティア清掃がその清潔保持の一端を担っている。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	廃棄物等不法投棄に関する情報提供 不法投棄の抑止効果をねらい、市内事業所との協働監視体制を構築する。(市内3集配郵便局・石狩湾新港運送事業協働組合・市内タクシー3社)
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	道路管理者による市道の巡回パトロール及び道路清掃等
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	清掃ボランティアの活動や郵政、運送業界等からの情報提供等の協力を得ている。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	18,835	17,549	18,960	18,908	市内全域不法投棄ごみ処理	8,351
2) その他の間接経費(千円)					石狩浜海浜地清掃・巡回業務	7,875
3) 従事正職員の人件費(千円)	2,465	6,632	5,764		石狩浜ごみ収集運搬業務及び清掃業務	2,734
総事業費(1~3の合計;千円)	21,300	24,181	24,724		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)	13,582	15,834	24,724			金額(千円)
市民一人当たり一般財源使用額(円)	246	285	442			
事務に従事した正職員のべ人数	0.30人	0.80人	0.70人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
不法投棄発見件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	パトロールや情報提供によって確認した不法投棄件数 全件掌握不能のため目標値未設定
	実績値	225	375	261	
	達成率				
ごみの持ち帰り啓発活動日数(日)	目標値			51	全巡回業務日において設定 (石狩浜海浜地清掃・巡回業務)
	実績値			51	
	達成率			100.0%	
清掃ボランティア参加人数(人)	目標値			未設定	市内で清掃ボランティアに参加した市民等の人数で設定 実績値は参加者数の合計のため目標値未設定
	実績値			2,775	
	達成率				

5 事業の成果

事業名：不法投棄廃棄物適正処理事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
不法投棄廃棄物適正処理件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	250	不法投棄発見件数に対する処理件数で設定 発見件数の減少傾向から目標値設定 (H15年度目標値は5%減の250件)	処理簿・実績報告
	実績値	225	375	261	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
不法投棄廃棄物適正処理量(トン)	目標値		未設定	未設定	175	不法投棄廃棄物処理量で設定 発見件数の減少傾向から目標値設定 (H15年度目標値は5%減の175トン)	処理簿・実績報告
	実績値		168	185	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	本市の広範囲な地理的要件(新港工業地域・海浜地域等)のなかで、実施事業については概ね適正処理されており良好な事業活動を行っている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	市民の苦情や地域要望から見ても市民ニーズは大変多く、環境汚染の未然防止並びに環境美化の促進を図るため有効かつ必要である。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	不法投棄廃棄物の排出者特定は非常に難しく、その中で市民と行政の協働による廃棄物処理の取り組みが構築されて来ており、市関与による一定の適正処理は妥当である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	地域住民の安全な生活環境が保たれるよう、不法投棄の適正処理が行われており、一部にはボランティアや市民参加による協働の中で実施されるなど事業内容としては妥当である。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	迅速な適正処理が望まれる中で、市民参加などによる協働での適正処理システムが構築されてきており、当該事業は重要で良好である。		廃棄物の不法投棄に速やかに対処し、抑止効果を発揮した。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	最近、悪質巧妙で組織化された不法投棄が多発しており、専門的な対応が求められ警察機関等との連携並びに専門的知識が必要とされるため、組織体制の強化が課題である。
最終評価	廃棄物の不法投棄に係わる組織的な動きに対処する体制強化が必要である。

9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		*
	現状維持		
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についての説明	専門員配置による事業費の増額		